

大阪外国企業誘致センターは、在京欧州企業の大阪進出を促進するため、昨年につき、9月9日に、欧州ビジネス協会（会長：リシャル・コラス シャネル日本法人社長）理事会を大阪へ誘致、大きく変貌を遂げる大阪をアピールした。

理事会に先立ち、今回来阪したコラス会長はじめ13名のメンバーが大阪府・大阪市・大阪商工会議所の幹部と懇談した。大阪商工会議所の西村貞一副会頭（サクラクレパス社長）、足立哲国際ビジネス委員長（丸紅理事）らが大阪のビジネス環境や将来の展望を実例を交えて紹介、投資先としての魅力を強調した。懇談会には平工奉文・近経局長も参加した。

更に、一行は大阪市広報船にて、大阪市港湾局の川本清・局長、経済局の有田正文・副理事、大阪府商工労働部の上田泰・副理事らの案内により、建設が進むシャープの液晶パネル工場や物流施設などダイナミックに発展しつつある大阪湾地域を海上から視察した。

その後の交流会では、国際交流舞踊クラブ（会長：藤間良太郎）による日本舞踊「大阪めぐり」などが披露され、欧州ビジネス協会のメンバーらは、「素晴らしい日本舞踊を初めて身近で見た」と感嘆の声があがった。最後に挨拶に立ったコラス会長は「大阪・関西の大型プロジェクトによる明るい将来が見えた。今後は自分も、東京と本国フランスで、大阪の広告塔としてPRに努めたい」と熱く語った。

【欧州ビジネス協会（<http://www.ebc-jp.com>）は、欧州18カ国の商工会議所及び駐日経済団体を代表し、3,000を越える欧州系企業、個人会員が加盟している。】

